

廃校となっても管理費はかかる
どうするのか



倉野 嗣雄 議員

施設管理について
倉野 廃校となった学校の浄化槽の管理費は、年間いくらかっているのか。

企画財政部長 旧平川小学校が9万円、旧高山小学校が19万円、旧湯野小学校が6万円、旧西山小学校が5万円、旧備中学校が14万円、合計で年間53万円かかっている。

町内会支援について
倉野 人口減少と高齢化によって町内会の維持が困難になってきている。金銭的にも地域集会所の経費さえ苦慮している。何か打手はないか。

市民生活部長 令和7年度から新たに地域支援検討会議を立ち上げて、地域維持活性化策を検討しており、課題の把握と支援策の強化といったところも図っていきたく考えている。町内会や地域のコミュニティの機能維持につながる取り組みを今後進めていきたい。



▲動画視聴はこちらから

行財政改革強化集中プランを
見直すべき!!



榎 隆宏 議員

行財政改革について
榎 令和5年度の計画が甘かったのではないかと。今後のことを考えると、プランの数値目標は不十分であり、抜本的に見直しをするべき。

企画財政部長 計画策定時から物価高騰をはじめとする不測の事態が生じたため、これに対応する「強化集中プラン」を新たに追加した。今後は長期的な財政運営のため、聖域なく事業の見直しに取り組む。

榎 管理職の勤勉手当削減は予算削減の効果はずかであり、逆に士気を下げ、退職の引き金になりかねない。先に、年間1億2千万円超の超過勤務手当削減のため、事業を削減すべき。



▲動画視聴はこちらから

市民の生活が一番



藤岡 善行 議員

約5億円の収支不足について
藤岡 約5億円の収支不足の原因をどう見ているのか。

企画財政部長 最近の急激な物価変動や人件費の上昇など外部要因が重なったことと考えている。

藤岡 今後においてどのように改善していくのか。

企画財政部長 来年度からの3年間において「強化集中プラン」を実施し、収支不足の解消に取り組む。



▲動画視聴はこちらから

当面の緊急物価対策について
藤岡 水道料金を無料化または値下げできないか。

土木部長 水道事業は独立採算で運営されている。現状は、非常に厳しい経営状況。国の交付金等新たな財源が確保できれば水道料金の負担軽減に取り組んでいく考えは持っている。

福祉的な相談窓口について
藤岡 福祉的な要素を踏まえた相談窓口を設置できないか。

健康福祉部長 高梁総合福祉センター内に「高梁市生活あんしんサポートセンター」を設置し、生活困窮にある方などへ支援を行っている。

学校園の給食の無償化について
藤岡 学校園の給食費の無償化について、今一度市長に問う。

市長 国の方針は、小学校からということ。市の現在の財政状況を鑑みながら完全無償化に向

安心が市民に届いていると
言えるのか?



長田 伸彦 議員

消防職員を増員すべきでは
長田 昨年度は市に4台ある救急車が全て出動するという事案が18件発生。その際要請があったらどうなる。高梁市は67人新見市は80人体制である。消防職員を増員すべきではないか。

市長 重複出動で勤務人員が不足する時は、非番者や日勤者で対応して、救急出動が遅れた案件はない。

長田 安心が市民に届いていると言えるのか。

市長 まずはこの状況でしっかりと市民の安全・安心の確保に努めていきたい。

鶴寿荘の廃止が継続だけでなく成羽長寿園で介護サービスを提供するという合理的な方向もあるのではない
長田 コンサルティングで示された鶴寿荘の3つの方向性、とりわけ廃止案についての認識は、健康福祉部長 赤字解消だけでなく、市全体として最適な方向性となるよう検討する。

長田 市営施設である成羽長寿園では介護サービスを提供できない。できるように県から特定施設の指定を受けてはどうか。

健康福祉部長 人員や施設基準が解決できれば検討の余地がある。

長田 もし鶴寿荘が廃止の方向であれば、そこで働く介護職の方は成羽長寿園の方の入居者支援にも大きな力になると考える。



▲動画視聴はこちらから